

# ロボット介護機器開発・標準化事業

## 平成30年度予算額 11.0億円（新規）

### 事業の内容

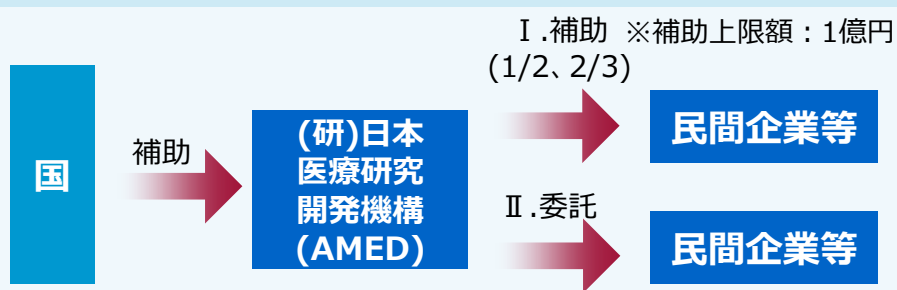
#### 事業目的・概要

- 介護需要の増加や介護者の慢性的な人材不足という社会課題をロボット技術の活用により解決するため、高齢者の自立支援等に資するロボット介護機器の開発・標準化を促進します。
- 厚生労働省と連携して策定した重点分野について、介護現場のニーズに基づいた自立支援型ロボット介護機器等の開発補助を実施します。併せて、ロボット介護機器の効果の評価を実施します。また、我が国のロボット介護機器開発の成果を、介護現場への普及、さらに今後の海外展開につなげていくための環境整備等を行います。

#### 成果目標

- 平成30年度から平成32年度までの3年間の事業であり、最終的には、ロボット介護機器の国内市場規模を約500億円へ拡大することを目指します。

#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



### 事業イメージ

#### I. 自立支援に資するロボット介護機器の開発補助

ロボット技術の介護利用における重点分野  
(平成24年11月 経産省・厚労省公表、平成26年2月、平成29年10月改定)

#### 開発を支援する重点分野



移動支援（装着）



排泄支援  
(排泄予測)



排泄支援  
(動作支援)



見守り・コミュニケーション  
(コミュニケーション)



介護業務支援

#### II. 介護現場への普及及び海外展開につなげるための環境整備

ロボット介護機器の効果に係る評価を実施するとともに、新たな機器の安全基準を策定します。また安全性に関する国際規格（ISO13482）とEUの基準適合マーク（CEマーク）との連携を進めます。